

地域計画

策定年月日	令和6年7月25日
更新年月日	令和7年4月15日 (第 1 回)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	いわき市 204
地域名 (地域内農業集落名)	北神谷・水品地区 (北神谷 水品)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	52.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	48.2 ha
② 田の面積	43.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	8.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	19.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	- ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・高齢化の進行に不安を感じている。
 ・ほ場の区画は旧耕地整理で整備された10a区画となっており、機械化による作業効率が上がらない。
 ・農道が狭く、大型機械の通行に困難をきたしている。用水路も未整備の箇所が多く、効率的な水利用がなされていない。用水については北神谷地区の一部と水品地区が、ため池を利用しており水利用に苦労している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・水稻をメインに作付しており、基盤整備事業を実施するにあたって、梨・イチジク・ねぎ・サツマイモを検討中。
 ・農地については、認定農業者へ集積すると共に、入作者を募る。9月に就農予定の人物がいるため、再来年くらいに法人化を検討している。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・将来的に、ほ場整備事業の実施を目指し、多面的機能支払事業と中山間直接支払事業を継続していくことで、農業者と非農業者が協力して草刈り、泥上げ作業等に努め、集落全体の農地を保全していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	47.5	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・高齢化及び担い手が不足していることから、基盤整備事業への取組みを検討し、入作を含め、地区内外で新たな担い手を確保しつつ集団化(集約化)を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・地区では小規模で自作している地権者の高齢化や後継者問題が顕著な為、農地中間管理事業を活用して担い手への農地集積・集約を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農地中間管理機構の活用を検討する。
(3)基盤整備事業への取組
・将来的に基盤整備事業の実施を目指すため、定期的に説明会等を実施することで地権者の合意を図り、農地中間管理機構を通じた担い手への集積を行って、基盤整備事業に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地区で実施したアンケートにおいて、高齢化を心配する声が多くあったため、入作を含め、地区内外で新たな担い手を確保する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・福島さくら農業協同組合が実施しているヘリ防除の導入を検討している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策として電気柵を導入し、ワイヤーメッシュや捕獲用の罠を設置している。
⑦年に2回の草刈、泥上げを実施し、農道の砂利引きを実施している。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	A氏	水稻、野菜	2.9 ha	ha	水稻、野菜	2.9 ha	ha	A氏	
利用者	B氏	水稻、野菜	1.5 ha	ha	水稻、野菜	1.5 ha	ha	B氏	
利用者	C氏	水稻、野菜	1.2 ha	ha	水稻、野菜	1.2 ha	ha	C氏	
利用者	D氏	水稻、野菜	2.2 ha	ha	水稻、野菜	2.2 ha	ha	D氏	
利用者	E氏	水稻、野菜	2.1 ha	ha	水稻、野菜	2.1 ha	ha	E氏	
利用者	F氏	水稻、野菜	1.9 ha	ha	水稻、野菜	1.9 ha	ha	F氏	
利用者	G氏	水稻、野菜	1.2 ha	ha	水稻、野菜	1.2 ha	ha	G氏	
利用者	H氏	水稻、野菜	1.2 ha	ha	水稻、野菜	1.2 ha	ha	H氏	
利用者	I氏	水稻、野菜	1.2 ha	ha	水稻、野菜	1.2 ha	ha	I氏	
利用者	J氏	水稻、野菜	1.5 ha	ha	水稻、野菜	1.5 ha	ha	J氏	
利用者	K氏	水稻、野菜	1.2 ha	ha	水稻、野菜	1.2 ha	ha	K氏	
利用者	L氏	水稻、野菜	1.6 ha	ha	水稻、野菜	1.6 ha	ha	L氏	
利用者	M氏	水稻、野菜	1.0 ha	ha	水稻、野菜	1.0 ha	ha	M氏	
利用者	N氏	水稻、野菜	1.1 ha	ha	水稻、野菜	1.1 ha	ha	N氏	
認農	O氏	水稻	2.9 ha	ha	水稻	2.9 ha	ha	O氏	
利用者	P氏	-	0.0 ha	ha	果樹、野菜	0.4 ha	ha	P氏	
利用者	Q氏	-	0.0 ha	ha	果樹、野菜	0.4 ha	ha	Q氏	
利用者	R氏	-	0.0 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	R氏	
計	18経営体		24.7 ha	0 ha		25.9 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	福島さくら農業協同組合	ヘリ防除	水稻
2	シルバー人材センター	苗づくり	水稻

6 目標地図(別添のとおり)



